



三事研広報 No.6

H23.3.28 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 河村 尚紀
編集責任者 池山 勝利

このたびの震災で被害に遭われました方々には、心よりお見舞いを申し上げます。会員の皆様におかれましては、年度末の大変お忙しい時期に加え、花どきの習いで気候も不順になりがちなの頃です。どうぞお元気でお過ごしください。

今年度の活動のまとめ

今年度も三重県公立小中学校事務研究会の活動にご参加いただき、また、活動アンケートへのご協力をいただきまして、ありがとうございました。いただきました貴重なご意見を参考に、役員会、委員会で検討をして、来年度の活動に引き継いでいきたいと思っております。

今年度最終の三事研広報(第6号)は、一年間を振り返って各部より活動のまとめと、全事研セミナーの報告です。支部の風景は、桑名支部からの紹介です。



研究大会の様子

研究部

本年度は、第6期中期研修計画の2年目であり、「学校事務の教育活動への関わり」を重点とし、教育活動の中心である「授業」に着目し、よりよい授業づくりのための学校組織について検証してきました。

また、併せて「教育活動活性化計画」の策定にも取り組んできました。教育活動の活性化に向けて、事務職員として何か特別に新しいことをはじめるといよりは、従来からやっていることを整理し、つながりよく丁寧にやっていく、学校組織の中で力を十分に発揮していくことが大切であると考えます。そのために具体的に何をすればよいか今後も研究を進めていきます。

「学校を元気にする」そのためには、まず私たちがいきいきと仕事をする「元気な事務職員」でありたいですね。

研修部

本年度は、「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」の研修主題のもと、よりよい学校組織づくりをめざして「現状における課題の把握」「学校財務」を中心とした研修講座を開催いたしました。

資質向上のための講座に加え、パネルディスカッションや実践報告など盛りだくさんの内容となりました。ご協力くださった方々、本当にありがとうございました。

また研究大会については、午前の「学校経営と学校事務」と題した河合康満さんの記念講演、午後の分科会とも大変好評を得ることができました。発表していただいた鈴鹿支部、亀山支部のみなさん、本当にお世話になりました。活動アンケートでいただいた貴重なご意見を参考に、今後ともたくさんの会員のみなさんに参加していただけるような魅力ある研修講座を企画・運営していきたいと思っております。

情報部

情報部では、会員の皆様のご協力をいただきながら、調査活動、広報活動、事務の手引の編集などを行ってきました。今年度の調査活動では、県内の支部研究状況調査と共同実施の状況調査を行いました。また、広報誌「ひろば」については、今年度からホームページに「ひろばのコーナー」を設置しまして、新規採用者の方の近況などを、少しでも早くお伝えすることができました。活動アンケートではさまざまなご意見をいただきましたので、冊子の「ひろば」とホームページをどのような関係にしていけるのか、今後とも検討を重ねていきたいと存じます。

「三事研広報」については研究大会の報告や支部の紹介を中心に、今年度も6回の発行をいたしました。

そして「事務の手引」については、分かりやすく使いやすい手引を目指して、編集を進めてきました。おかげさまで「困ったときには、いつも活用している。」というご意見もいただいております。最後にホームページですが、当研究会の紹介や研究大会の情報、活動アンケートの掲載をしました。また、会員専用ページを若干、再編成をしました。今後とも親しみやすいホームページを目指します。一年間ありがとうございました。

第17回 全事研セミナー

2月25日（金）東京都文京区の文京シビックホールにおいて、平成22年度（第17回）全事研セミナーが盛大に行われました。文部科学省の行政説明の他、新教育課程の実施と事務職員の役割などをテーマにした講義がありました。

文部科学省の行政説明では、学校の耐震工事は進んでいますが、教室のロッカーや大型テレビなどの家具や備品が落下、転倒したり、天井や窓・ガラスが破損する危険が潜んでいます。と注意がありました。いざというときに子どもが被害に遭わないようにするため、教室や屋内運動場での点検のポイントを示した資料が配付されました。なお、この資料は文部科学省のホームページにも掲載されていますので、学校での設備、安全点検をする際にご活用ください。アドレスは http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/_icsFiles/afieldfile/2011/02/25/1291462_02.pdf です。または文部科学省のページから「点検のポイント」で検索ください。

支部の風景 北から南から



今回は桑名支部から、多度大社と上げ馬神事の話です。

写真は桑名市多度町にある多度大社です。毎年5月に開催される上げ馬神事は、多度大社の例祭神事で氏子中より神占いによって選ばれた少年騎手6名が武者姿にて高さ約2メートル余りの絶壁を勇壮に駆け上がる神事で、全国でも有名な行事になっています。

桑名市は平成16年12月6日に旧桑名市に多度、長島の2町が合併しました。桑名支部は桑名市と桑名郡木曾岬町で構成され、共同実施4グループで頑張っています。

上げ馬神事は、三重県の無形民族文化財に指定されています。



研究大会のご案内



平成23年度 第48回
三重県公立小中学校事務研究大会
50周年記念大会

日時 平成23年10月21日（金）
場所 三重県総合文化センター

来年度の予定

総会・第1回研修講座 平成23年5月17日（火）
（男女共同参画センター）
第2回研修講座 平成23年8月10日（水）
（大紀町コンベンションホール）
第3回研修講座 平成23年12月9日（金）
（男女共同参画センター）

今年度末に退職される会員の皆様へ

5月頃に、来年度発行する「ひろば」の原稿依頼を行いたいと思います。

4月からの連絡先（お名前・ご住所・メールアドレス）を情報部または各支部の支部委員さんまでお知らせください。どうぞよろしくお願い致します。

連絡先：hiroba@miejiken.sakura.ne.jp

1年間ありがとうございました。
またどこかでお会いしましょう！



広報担当者から

パソコンと格闘をしながら、何とか1年が過ぎることになりました。支部委員の皆様を通じて、差し替えのメールをお送りしたこともございましたが、関係者の方々には、あらためてお詫びを申し上げます。

さて、23年度には、三事研は50周年を迎えます。記念大会の開催にあわせまして「ひろば50周年記念号」を発行の予定です。会員の皆様には来年度もご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、原稿の依頼を快く受けていただいた支部委員様をはじめ、多くの方に支えられて三事研広報は発行されています。編集に携わってくださった皆様、ご愛読をいただきました全ての会員の皆様に感謝を申し上げます。